

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	薬学入門（早期体験学習）
科目名（英文）	Early Exposure
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	1年次・通年
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	須野 学、安原 智久、永田 実沙
科目ナンバリング	P6002JD
関連科目	社会薬学Ⅰ、社会薬学Ⅱ、社会薬学Ⅲ、社会薬学Ⅳ、社会薬学Ⅴ、 病院・薬局実習、病院・薬局薬学

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬剤師の活動、特に医療機関に勤務する薬剤師の役割への理解、患者の薬物療法に携わる薬剤師の役割と責任への理解に基づいた薬学部1年生にふさわしい思考、行動選択を行う。医療機関に勤務する薬剤師の活動・使命は、患者（入院）のみならず生活者（退院時）に及んでいることを踏まえ、医薬品を扱う将来の薬剤師として、薬の物質としての理解のみならず、患者の生命・生活への理解を深める広い視野で社会の様々な出来事に能動的に深い興味を示す。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

・人の健康に携わる職業である薬剤師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの

薬学入門（早期体験学習）は、地域・社会の中で貢献する薬剤師には幅広い活躍領域が存在し、患者ならびに生活者に、薬を物質として提供するだけでなく扱うだけでなく、生命と健康、生活に対応する能力と行動が要求されることに実際にふれ、将来の医療従事者としての倫理観、責任ある社会人としての良識の第一歩を獲得するものである。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

基本的な知識の再生のみではなく、薬剤師の役割・使命への理解に基づいた思考、行動を、見学时および討議・発表時の行動から評価する。また、レポートでは、見学により得た知見、特に、医療機関に勤務する薬剤師の職能の一部を紹介し解説した上で、その職能の患者・生活者の健康への影響と今後の自らの学びのあり方を考察していることを評価する。

授業計画

回	学習内容・課題	学習方法 (場所)	評価方法
1	授業ガイダンス、事前学習の提示	講義 (講義室)	レポート
2	導入講義 (薬局) 1	講義 (講義室)	レポート
3	導入講義 (薬局) 2	講義 (講義室)	レポート
4	導入講義 (病院) 1	講義 (講義室)	レポート
5	導入講義 (病院) 2	講義 (講義室)	レポート
6	実習前オリエンテーション (薬局)	講義 (講義室)	レポート
7	実習前オリエンテーション (病院)	講義 (講義室)	レポート
8	薬剤師活動の見学 (薬局 1) 1	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
9	薬剤師活動の見学 (薬局 1) 2	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
10	薬剤師活動の見学 (薬局 1) 3	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
11	薬剤師活動の見学 (薬局 1) 4	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
12	薬剤師活動の見学 (薬局 2) 1	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
13	薬剤師活動の見学 (薬局 2) 2	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
14	薬剤師活動の見学 (薬局 2) 3	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
15	薬剤師活動の見学 (薬局 2) 4	見学 (薬局他)	レポート 観察記録
16	グループワーク (薬局) 1	SGD (講義室)	レポート 観察記録

17	グループワーク（薬局）2	SGD (講義室)	レポート 観察記録
18	グループワーク（薬局）3	SGD (講義室)	レポート 観察記録
19	薬剤師活動の見学（病院1）1	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
20	薬剤師活動の見学（病院1）2	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
21	薬剤師活動の見学（病院1）3	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
22	薬剤師活動の見学（病院1）4	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
23	薬剤師活動の見学（病院2）1	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
24	薬剤師活動の見学（病院2）2	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
25	薬剤師活動の見学（病院2）3	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
26	薬剤師活動の見学（病院2）4	見学 (附属病院他)	レポート 観察記録
27	グループワーク（病院）1	SGD (講義室)	レポート 観察記録
28	グループワーク（病院）2	SGD (講義室)	レポート 観察記録
29	グループワーク（病院）3	SGD (講義室)	レポート 観察記録
30	発表会、まとめ	プレゼン (講義室)	レポート、観察記 録、プロダクト

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

評価時期

観察記録（8～30回時）

レポート（毎回）

プロダクト（30回時）

評価方法

観察記録（40%）

レポート（40%）

プロダクト（20%）

評価基準

本科目は参加型の学習であり、出席を前提とした教育方略・評価を行う。従って、正当な理由なく欠席した場合は、単位を認めない。

総評価の60%以上で合格。

学生へのメッセージ

入学後、皆さんが初めて触れる実臨床の場であり、そこで活躍する薬剤師になります。現時点ではよくわからないことも多くあると思いますが積極的な参加と学びにより将来像の構築の一助としてください。

授業担当者（須野・安原）は実務経験を活かし、皆さんの理解の支援となる助言や講義を行います。また、見学・グループ討議の円滑な進行を支援し、主体的な活動では気づかなかった点をフィードバックします。

担当者の研究室等

研究室 601

オフィスアワー：毎週月曜日 12:40～13:40 17:30～18:30

備考、事前・事後学習課題

実地見学および討議を効果的に行うため、見学および討議に先立ち、基本的な薬剤師に関する理解や医療制度に関する知識の事前学習を行うこと。また、事後学習として見学後の日々のまとめや理解が不十分だったところの自己学習による補足を行い記録（早期体験学習版ポートフォリオ）の作成を行うこと。